

自治体・協議会名	瀬戸市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・市内基幹バスしなの線とコミュニティバスの乗り継ぎ向上を図り、平均乗り継ぎ時間が半減されたことを評価します。
- ・横断歩道に近い市内基幹バスの停留所を移設し、旅客の安全性向上を図っていることを評価します。
- ・品野おでかけバス及び本地おでかけバスの実証実験を継続し、効果の検証と課題抽出を行っていることを確認しました。
- ・バスの乗り方教室を継続開催し、地域住民の利用意識向上を図るとともに、ながくて交通フェスタへ出展し、他地域住民へ周知することで、新たな利用者の獲得を図っていることを確認しました。

期待する取組

- ・実証実験を行っている各線において、利用実績や地域住民の意見等を把握し、今後予定されている車両の大型化等の効果を検証するとともに、変更・修正が必要な事項の有無を検討し、地域に適した公共交通網の構築に取り組まれることを期待します。
- ・引き続き、各種イベント(他地域含む)や乗り方教室の開催等、公共交通の啓発や利用促進に取り組むとともに、参加人数などアウトカム指標も参考に、より効果的な内容となるよう、継続的な改善を図られることを期待します。
- ・Googleマップダイヤ検索等の周知にあたっては、操作説明等を分かりやすく例示し、操作手順の理解を深める工夫を行うことで、高齢者の抵抗感を低減されることを期待します。
- ・福祉部局や教育部局と緊密に連携し、課題の洗い出しや取組の周知等に取り組まれることを期待します。